

日高義博(右)と張理事長



檀国大学と協定締結40周年(韓国)

日高義博総長は、8月28日、韓国の協定校である檀国大学を訪問した。檀国大学は、本学の数ある協定校の中でも古くから交流を続けている大学の一つであり、今年、協定締結40周年を迎えた。訪問では、檀国大学竹田キャンパスにおいて、張理事理事長及び金永元副総長と面会した。懇談では、日韓両国において少子化が進む中、今後は両大学間の交流に加え、付属高校間の交流も視野に入れながら、さらなる学生交流の発展に期待を寄せた。

国民経済大学訪問団と本学関係者



国民経済大学訪問団が来学(ベトナム)

国民経済大学(ベトナム)の訪問団が7月1日、生田キャンパスに来学し、馬場杉夫学長らと今後の交流について懇談した。両校は2015年12月に国際交流協定を締結。懇談では、馬場学長とティー・ハイ・ハー経済学・公共マネジメント学部長らがこれまでの交流を振り返るとともに、今後の学生交流および教員間の研究交流について協議した。

世界に広がる交流の輪

本学は世界18カ国・地域の31大学・機関と国際交流協定を結び、学生交流や教員の相互交流・研究など、盛んな活動を行っている。このうち27大学は国際交流協定校として、学生の相互受け入れ、教員の交流・研究などを実施。毎年多くの留学生が、本学で短期・長期留学を経験し、本学の学生もさまざまな国・地域の大学への留学を実現している。(5面に関連記事)



東南アジア・スタディツアー

国際交流協定校の一つ、タイ商工会議所大学(UTCC)で8月から9月にかけて、東南アジア・スタディツアーが開催された。このプログラムは、成長著しい東南アジア圏の社会、文化、歴史、ビジネスを英語で学び、理解を深めることを目的にしている。

1~4年次生6人が参加。国内でのオンライン研修を踏まえ、バンコクのUTCCでの研修では講義や体験学習などを通じ、互いの大学・国・文化や言語を学んだ。また現地の企業を訪問して、タイにおけるビジネス環境やSDGsについて学んだ。

- ▲ UTCCでの研修
- ▼ タイの歴史に触れた



日本語でプレゼンする留学生

JLCプログラム

多くの留学生日本語学ぶ

本学は、毎年多くの留学生を受け入れている。そのプログラムの一つが日本語・日本事情プログラム(The Japanese Language & Culture Program=JLC)。4~12週間、生田キャンパスの国際交流会館で生活し、レベルに応じた日本語と日本文化を学ぶ。協定校以外からも広く学生を受け入れており、6~8月に開催された夏期2コースには13カ国から53人が参加。7月30日には受講生によるプレゼンテーションが行われ、母国紹介や日本での思い出など、独自のテーマを設定し、日本語でスピーチを行った。

優勝を喜ぶ戸塚アイアンボンドスの選手たち



2026専修大学カップ

スポーツを通じて神奈川県内の子どもたちの健全育成を支援する「2026専修大学カップ神奈川県学童軟式野球選手権大会」(神奈川県野球連盟共催)の第20回記念大会が、7月18日から8月7日まで横浜スタジアムや境川遊水地公園少年野球場などで開催された。県内各地の代表54チームが熱戦を繰り広げ、戸塚アイアンボンドス(横浜市戸塚区)が大会史上2チーム目の連覇を達成した。(5面に記事・写真特集)

詳しくはこちら <https://www.senshu-u.ac.jp/sendacup/>



第20回記念大会開催

懇談会は7月26日、生田キャンパスで行われた。就職活動経験者によるパネルディスカッションで

4年次生らが就活体験談を語った

馬場学長による経営学の模擬授業



文学部4年次の保護者は、「1年次から毎年参加している。成績表の見方や就職活動の進め方など、参考になる話を聞くことができ、親の立場からさまざまなアドバイスができる」と、参加の意義を語った。

育友会支部懇談会

全国62会場で開催

ご父母・保護者の会である育友会(岩井真理会長)の支部懇談会が、7月から9月にかけて全国67支部62会場で開かれた。期間中は教職員が各地を訪れ、学業や学生生活、キャリア支援などについて説明した。個人面談やグループ面談の場も設けられ、ご父母・保護者からの個別の相談にもきめ細かく対応した。

馬場杉夫学長が、「大学時代は多様な経験をすることが大事。本学ではそのための機会を数多く用意している」とあいさつした。ご父母・保護者に大学での学びを体験してもらう「ミニ模擬授業が実施され、馬場学長と馬場和宏文学部教授が講義を行った。

被災された皆様へ

令和8年熊本地震及び、大雨に伴う災害で被災された皆様に心からお見舞い申し上げます。専修大学と石巻専修大学は、被災された学生と保護者の方に対して、安心して学業が継続できるように支援を行っております。以下の担当窓口にご相談ください。

学生生活課(神田)	Tel 03-3265-6824
学生生活課(生田)	Tel 04-911-1267
大学院事務課(神田)	Tel 03-3265-6568
大学院事務課(生田)	Tel 04-911-1271
法科大学院事務課	Tel 03-3265-6891
石巻専修大学事務課	Tel 0225-227712